



特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会 2018年度 活動団体応援プログラム 活動報告書

〔特定非営利活動法人あきた冒険あそび frog〕（秋田県秋田市）

【団体紹介 HP】 <http://bouken-asobiba.org/play/asobiba-232.html>

1年間の活動の概要

平成30年度5月には今まで活動していたさくらプレーパークを閉園し、主に秋田市一つ森公園へ活動を移しました。7～8月は秋田市の自然環境活動の助成金を使い、秋田市一つ森公園にて活動を行いました。7月は助成金の関係上秋田市全保育園・幼稚園にチラシを配布したところ300名ほどの親子が来場。8月はチラシ無しで開催したところ150名の来場者がありました。

8月には念願のNPO法人設立！そしてスポンサー企業として契約ができ、出張プレーパークのためのプレーカーも購入できました。

9月は初めて市のコミュニティセンターのお祭りで協働開催し、200名以上が来場し、次年度の開催も依頼されました。

1、2月は雪のプレーパークを開催。3月より補助金を使い、コミュニティとの協働事業として4回開催予定。そして同じ3月に他のスポーツクラブより協働事業で「出張プレーパーク」として長期休みのスクールを開催することになっております。

次の1年間でチャレンジしたいこと！

次年度は秋田市のコミュニティセンターの協働事業としてセンター隣の公園を利用したプレーパークを開催する予定です。その中でも桜地区コミュニティセンターでは月1回開催したいと思います。

そして秋田以外の過疎化地域にも出張プレーパークを展開していきたいと思っています。



▲遊び場の様子（2018年7月29日開催）

【運営メンバーから一言！】

今年度はNPO法人として常設から移動型としてスタートしました。スタッフが足りない時もありましたが、様々な団体や施設と協働することによりボランティアからプレーパークが浸透してきたように思います。でもやっぱりプレーリーダーが欲しい！早くプレーリーダーを雇用できる環境を作りたいと思っています。

（代表 桑原智子）

【協会から応援メッセージ！】

代表の桑原さんはとってもパワフル！人を引き寄せる魅力は彼女の強みでもあります。県内では先駆的に実践していることから、その取り組みは大変興味深いです。参加者も多く、プレーパークの楽しさは地域に十分伝わっています。時に、学生の「若さ」も得ながら、ますます楽しい場所づくりができることでしょう！

（地域運営委員〔秋田県〕 佐々木久美子）



▲遊び場の様子（2018年7月29日開催）

活動団体応援プログラムは、各地の冒険遊び場づくりを全国の仲間たち（協会）が応援するプログラムです。

参加をご希望の方は、日本冒険遊び場づくり協会までお問い合わせ下さい。【協会 HP】 <http://bouken-asobiba.org>